結婚記念日

今日は主の昇天を祝う日です。同じ日に、私たちの教会でも結婚記念日を祝い、神に感謝をする日としています。神に祝福された結婚を記念する日であります。私自身は、神の国のために独身であることを選びましたが、神の秘跡である結婚の特別な記念日を迎えられた方々を祝福し、共に祈りたいと思います。

しかし、今この時、病気やその他の理由で大切な人と一緒にこの記念日の日を祝うことができない人もいることを覚えてほしいと思います。今日のミサで、そうした兄弟姉妹のために祈りましょう。

確かに、結婚10周年、25周年、50周年、60周年と過ごしてこられた年月は異なりますが、どなたの結婚記念日も特別なものです。今日、このミサに皆さんと皆さんの家族とともに出席できることを神に感謝しましょう。皆さんが家族を通して社会のためにしてきたこと、そして教会で夫婦の愛を証してきたことは神様の祝福のもとにあります。そのことを、神に感謝しましょう。

今、結婚式のときに 夫婦であることを宣言し、集まった人々の間を歩いたあの日から今までを振り返ってみましょう。それから何年たちましたか？ どんなことを思い起こしますか。皆さんは生活がどのように変化したかを考えているかもしれません。科学技術の進歩により、瞬時に、いつでも、どこにいてもコミュニケーションがとれるようになりました。より快適な住居に住み、楽しい生活をおくっています。交通手段の発達により時間をかけないで遠くまで、簡単に移動できるようになりました。わたしたちの生活水準は驚くほど向上しました。

しかし、他の面では、私たちの前の世代の人々が想像もしなかったような状況に直面しなければならなくなったこともあります。

私は、皆さんが生活や文化の変化に適応しながら、同時に、最初に二人を結びつけた愛を維持し、深め、育んできたことに感心しています。

この数年間を振り返ってみるだけでも、お二人が直面した困難がすぐにわかるでしょう。例えば病気の子供と一緒に寝た不安な夜を思い出しませんか。あるいは老いた親の世話をするために寝る事の出来なかった夜を思い出しませんか。皆さんはご自分の体調不良を感じながら、子供や孫の心配をしています。さらに経済的な不安にも対処してきたことでしょう。

皆さんはいつまで働き続けられるかという不安にも対処してきたことでしょ
う。

このような体の疲れ、精神的な疲れ、失望、幻滅を経験しながらも、神
への信仰を持ち続け、互いへの信頼を失うことなく歩んできています。そ
して家族の支えによって、これらすべてに対処してこられたことでしょう。
皆さんには結婚してからの家族のさまざまな思い出があると思います。そ
れは貴重なものです。

そのような厳しい生活の中で、聖体とミサに目を向けるとき、皆さんは
自分の人生に意味を与えてくれる焦点、中心、つまり十字架のイエス様を
見つけることができます。十字架のイエス様をさし示す聖餐式は終わりの
ない感謝の祈りなのです。

二人は並んで歩んでいますが、その目は主の方を向いています。
長年の経験から、夫婦の愛は厳しさを乗り越えながらつちかってきた愛で
あることを知っています。しかも、互いに愛し合いなさいという厳しい要
求の下で歩んできたのです。

私たちの信仰は、不幸な出来事に直面して受け入れることができないと
きだけに神を求めたり、あるいは理性が失われたときだけに神を呼び出す
ような、曖昧で抽象的なものではありません。

信仰は、私たちの目に映る以上のものを見ることを可能にする神の贈り
物なのです。この神の賜物によって、私たちは十字架上のキリストを、私
たちを救ってくださる主として見る事ができるのです。私たちの人生を
振り返ってみると、二人とも失望した時期があったと思います。しかし、
その経験が私たちを変え、新しい洞察を与えてくれたことを知ることがで
きます。今、結婚生活、家族との生活を振り返ってみましょう。自分たち
の旅を主が導いてくださったこと、主が大きな役割を果たしてくださって
いたことに気が付きませんか。

この結婚記念という特別な日に、私たちは皆さんの家族、友人、隣人た
ちと共に皆さんの結婚記念日を祝いたいと思います。神の祝福を祈りまし
ょう。

結婚記念日おめでとうございます。